

平成20年10月21日

各位

上場会社名 株式会社 日立ハイテクノロジーズ  
 代表者 執行役社長 大林 秀仁  
 (コード番号 8036)  
 問合せ先責任者 社長室部長代理 加藤 弘之  
 (TEL 03-3504-5138)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年7月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	415,000	8,800	9,300	4,300
今回発表予想(B)	423,300	12,500	13,900	7,500
増減額(B-A)	8,300	3,700	4,600	3,200
増減率(%)	2.0	42.0	49.5	74.4
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	487,227	23,259	23,755	14,712

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	321,000	4,900	11,080	8,670
今回発表予想(B)	327,000	7,900	14,800	11,100
増減額(B-A)	6,000	3,000	3,720	2,430
増減率(%)	1.9	61.2	33.6	28.0
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	374,362	17,041	18,880	17,886

## 修正の理由

平成20年7月25日に行った業績予想の修正では、市場環境の悪化による半導体製造装置の売上減少に加え、収益認識基準の変更等により、平成21年3月期第2四半期累計期間の連結・個別業績予想を減額修正しました。  
 しかし、半導体製造装置の減産を好調な欧米市場向け生化学・免疫分析装置の増産に振り向けたことにより、翌期以降の出荷計画を前倒しすることができました。また、液晶関連製造装置の売上増等の業績変動に加え、収益認識基準の変更による影響額が想定以上に少なくなる見込みとなりました。

以上のような状況に鑑み、平成21年3月期第2四半期累計期間の連結・個別業績予想を上方修正しました。

なお、通期業績予想については、平成20年10月23日に予定している平成21年3月期第2四半期決算の発表時にお知らせします。

(注)上記予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となることがあります。

以上